

工部省
美術學校
諸規則

八月廿五日

工部美術學校諸規則ヲ定ム

工部省 局
十年八月二十五日

工部美術學校諸規則
余般別冊ノ通相定條條此段御
届申進候也
八月廿五日

工部美術學校諸規則

學校ノ目的

一美術學校ハ歐洲近世ノ技術ヲ以テ我日本國舊來
ノ職風ニ移シ百工ノ補助トナサレカ為ニ設ルモ
ノナリ

一故ニ先ツ生徒ヲシテ美術ノ要理ヲ知テ之ヲ實地
ニ施行スルコトヲ教ヘ漸ク進フテ吾邦美術ノ短
所ヲ補ヒ新ニ真馬ノ風ヲ講究シテ歐洲ノ優等ナ

工部省
美術學校
諸規則

ル美術學校ト同等ノ地位ニ達セシメントス

入學規則

一十五歳以上三十歳以下ニシテ性質善良身体壮健ナル者ヲ撰ビ(日本教育上)相當ノ吟味ヲ以テ入校セシムヘシ

一已ニ吟味ヲトグル生徒ハ東京ニ住スル相當身分ノ者ヲ撰シテ保証人トナスヘシ

一初メ六ヶ月間ハ試生トシテ假リニ入學セシメ其六ヶ月ヲ経テ藝能進歩スル者ハ全ク入學生ト為シ否ラサル者ハ退學セシム

但シ全ク入學生ト成ル者ハ其藝能ニ依テ等級ヲ定メ毎六ヶ月試験藝能ニ順シテ更ニ等級ヲ改定スヘシ

一生徒ヲシテ毎月金二圓ヲ納メ以テ技術傳習ノ為メ必要物品ノ支給費ニ充テシム又其全月出校セサルハ該月ノ納金ヲ免スヘシ

但シ卒業ニ至ラスシテ退學ヲ願フカ或ハ不行跡ニシテ退學ヲ命スルハ授業料トシテ一ヶ月金一圓ヲ、ヲ納メシムヘシ全月不参ノハ該月分ヲ除ク

一彫刻學生徒ハ當分ノ内之ヲ官費ニ係ク故ニ卒業ニ至ラスシテ退學ヲ願欲或ハ不行跡等ニシテ退學ヲ命スルハ其在學中支給ノ多寡ニ關セス支給品經費トシテ一ヶ月金三圓ヲ、ヲ追徴ス尤全月不参ノハ該月分ヲ除ク

入學願書 用帝美ノ紙ニツ折ニ通ヲ出スヘシ

私儀、
、
、
學或、
、
、
術修業仕度候ニ付御試
驗ノ上入學ノ儀奉願候也

何縣何族何國何郡何町何村何某

長次男或ハ兄弟又ハ附籍

東京住所

年月日

姓名 何年何月生 印

工務局長某官某殿

證人證書雛形
ニ用紙美ノ紙ニ折
通ヲ出スハシ

何縣何族何國何郡何町何村何某

長次男或ハ兄弟又ハ附籍

何 某

右ノ者御吟味ノ上入學御差許相成候上ハ御規則堅
ク相守リ必ス卒業為仕候万一之ニ違背候狀或ハ其
他不都合ノ儀等有之候ハ私引受御露令相受可申
候仍テ證書如件

何縣何族

東京住所

年月日

姓名 印

工務局長某官某殿

但シ彫刻生証人ハ地主家主或ハ仕官ノ者ニ限
ルバシ且證書中入學ノ上ニ官費ノ二字ヲ加フ
バシ

証人心得

一証人ハ生徒毎月ノ納金ヲシテ延滞ナカシメ又

生徒ノ官物ヲ紛失又ハ破毀スルニ於テハ其償金ヲ
納メシムルヲ以テ已レノ責任トトスベシ

教場區分

一 教場ヲ分テ二區トナス

第一區 既ニ稍日本風ノ技術ニ得ル所アリテ專ラ

實地修業ヲ望ム者ノ教場

第二區 論理實地共新ニ修業ヲ望ム者ノ教場

習學年期

一 第一區ノ生徒ハ少クトモ三ヶ年第二區ノ生徒ハ

少クトモ六ヶ年必ス就學スルコトヲ誓約スベシ

但其藝能進歩^{（環）}超ヘ卒業ノ速カナル者ハ一年

或ハ二年ニシテ局長都檢詮議ノ上退校ヲ許ス

トアルハシ

女生徒

一年十歳以上二十歳以下ノ女子ニシテ美術志願ノ

者男子ト同様ノ振合ヲ以テ入校ヲ許ス

月水金曜日學習生徒

一 美術志願ノ者故アリテ終日課業ニ従事スル能ハ

サル者ノ為ニ別ニ時間ヲ定メ一週間ニクモ教授

ス

但シ此生徒ハ納金七拾五錢タルハシ

奉職

一 就學ノ期終リテ其業奉職ニ足ルヘキ者ハ工部省

ハ出仕スルヲ得ヘシ

學課

學課ヲ別ツテ三科ト為ス

第一

豫科

チルソゴイル、プロセクション、エント、ブロス
バクチーア

幾何 線畫 粉飾

一各生徒此科ヲ終ル或ハ此科ニ適應スルノ試
驗ニ登第スルモノニ非レハ直ニ専門科ニ入ル
ヲ許サス

第二 畫學

山水并禽獸真寫法

草花動物ヲ形容擬馬スル法

第三 彫刻學

草花ノ彫刻

造家學ニ用ユル動物彫刻

肖像彫刻

一生徒ハ入學ノ日其目的トナス學課ヲ定メ已ニ
之ヲ定ムルニ於テハ局長並都檢ノ許可ナクシ
テ猥ニ變スヘカラス

教官心得

一教師ハ各生徒ヲ指揮スルノ全權ヲ有ス故ニ其學
業ノ進否モ亦教師ノ責任トス

一教師ハ六ヶ月毎ニ生徒學業ノ優劣ヲ局長及都檢
ハ通報シ又改革スヘキナル片ハ之ヲ局長及都
檢ニ謀ルヘシ

一教師ハ學校ニ備ハアル物品ノ用方疎略ナラサル
様注意スヘシ

一教師ハ自己ノ意見ヲ以テ上級ノ生徒ヲ擇テ下級
ヲ教ルノ助手ト為スヲ得ヘシ

官負

一各區ニ官吏一名ヲ置キ其區生徒ノ名簿ヲ製シ教師ノ指揮ニ依テ物品ノ出入ヲ取扱ヒ又自ラ通辨トナリ百事教師ノ助ケヲ爲シ生徒ノ勤惰ヲ監督スヘシ

助手心得

一助手ハ教官並ニ官員ノ差圖ヲ受ケ諸事繁忙ヲ補助シ或ハ教場内備付ノ物品貸與品等ニ注意シ若シ破損過不足ヲ生スルハ速ニ届ケ出亦タ生徒ノ勤惰ニ注意シテ時々其現實ヲ官員ハ通達スヘシ

別則

第一生徒若シ官物ヲ破損スル時ハ之レニ修復ヲ加

ハシムルカ又ハ償金ヲ出サシムヘシ

第二各生徒自己ノ椅子ヲ定メテキ必ス他ノ椅子ニ凭ルハカラス亦タ他人ヲ自己ニ校中ニ引入テ許サス

第三生徒豫ナク欠席スル時ハ其事由ヲ明記セル証人証書ヲ其區ノ官吏ニ出スヘシ

但シ三十日以上出校スル能ハサル者ハ退校ヲ命ス

第四生徒若シ病ニ罹リ十日以上欠席スル時ハ醫師ノ証書ヲ出スヘシ

但シ二月以上全快セサル時ハ退校ヲ命ス
第五生徒或ハ証人若シ轉宅スルアレハ其都度速ニ之ヲ届出ヘシ

第六生徒常ニ罷免家モ精勤ナル者ハ吟味ノ上相當ノ賞ヲ行フヘシ

第七毎日朝第八時半ニ生徒ノ姓名簿ヲ讀ミ其人員ヲ檢シ第九時始業午後第四時ニ至テ閉校スヘシ但シ十二時ヨリ一時迄ハ休息ノ事

第八校中吸煙ハ嚴禁タルヘシ

第九毎土曜日ハ正午十二時ニ閉校スヘシ

第十毎年六七兩月間ハ朝第七時始業正午十二時終業タルヘシ

第十一毎歲ノ休業ハ八月一ヶ月ト定メ其他新年及祭日ノ休暇ハ學校ノ休暇表ニ從フヘシ

明治十年七月
工部大學校
追加

校中ニ於テ生徒ノ自製シタル畫圖彫刻其所屬ノ教師ヨリ許可ヲ受ケスシテ校外ニ携ヘ他人ノ展覽ニ供スルヲ禁ス